

越智副大臣冒頭挨拶

平成30年6月7日（木）10：30

於：金融庁共用第2特別会議室

マウン・マウン・ウィン ミャンマー計画財務副大臣、  
ミャンマー計画財務省・在京大使館の皆様、  
日本側関係各社・団体の皆様、  
おはようございます。内閣府大臣副大臣の越智 隆雄です。

マウン・マウン・ウィン副大臣のご来日を心より歓迎するとともに、ミャンマーに進出し、同国保険セクターを支援する日系保険会社各社の皆様、関係諸機関の皆様が一同に集い、日緬保険分野の協力関係の強化のために議論を重ねられてきたことに感謝申し上げます。

本日の会議は、日本の官民一体となったミャンマー保険セクターに対する支援計画である「COMPASS for the Future of Myanmar's Insurance Sector」をマウン・マウン・ウィン副大臣にお渡しするために、開催させていただきました。

私の方から、このCOMPASS本計画の趣旨・概要について、簡単にご紹介させていただきます。

日本とミャンマーの間には、保険分野において長い協力の歴史があります。日本の保険会社は、20年以上の長きに亘り、実務のサポートやセミナーの実施などを通じて、ミャンマー保険市場の発展に向けた支援を続けてきています。

金融庁においても、ミャンマー計画財務省との間で協力強化の覚書を締結したり、JICA専門家として職員を派遣したり、グローバル金融連携センター（GLOPAC）で研修員を受け入れたりするなど、様々な協力関係を構築してきました。

近い将来、外資に対する保険市場の開放を含めた市場の自由化が見込まれているミャンマー保険市場は、今後大きく成長することが期待されています。

こうした機運の中で、ミャンマーの保険セクターが着実かつ健全に成長・発展していくために、日本の官民が、それぞれの取組みについて連携を高め、支援を実施していくために策定したのが、本日お渡しする「COMPASS」です。

この計画は、ミャンマーの保険セクターが抱える主要な課題、特に①保険会社の財務の健全性の確保、②保険商品の適正化、③販売・募集、再保険、支払い実務、④法制度整備、⑤当局・業界の能力構築について、官民で議論を重ね、知恵を絞った、包括的な支援策となっています。

こうした包括的な支援策が、ミャンマーの保険市場の歩むべき指針、まさにコンパスとなることを期待しています。

また、本計画の実施を含め、保健セクターに対する支援を一層加速化させるために、本年4月には、JICAの厚い協力の下、技術協力プロジェクトを立ち上げました。

本年秋を目途に生保アクチュアリーと損保専門家の2名をJICA専門家として、計画財務省に派遣する予定です。既に着任している専門家とともに、貴国当局・業界と協力しながら、本計画を実施するうえで大きな役割を果たすものと期待しています。

こうした取組みは、我が国のミャンマーの金融分野への協力・支援に対する強いコミットメントを示すものです。

本年1月に、村井政務官がミャンマーを訪問し、マウン・マウン・ウィン副大臣にお渡しした「資本市場活性化支援計画 (LIST for Myanmar's Future)」も含め、支援計画を着実に実施し、マウン・マウン・ウィン副大臣を始めとするミャンマーの関係者の皆様と手を携えながら、日緬 Win-Win の関係を構築していく所存です。

両国の関係のますますの発展と金融分野における協力推進を祈念して、私の冒頭のご挨拶とさせていただきます。

どうもありがとうございました。

(以 上)